

「国と地方の協議の場」(令和2年度第1回)

令和2年5月19日(火) 17:00~17:45

総理大臣官邸4階大会議室(テレビ会議)

議 題: 骨太の策定等について

出席者: (国側)総理大臣以下各省大臣

(地方側)地方六団体の長

地方六団体の要望(抜粋)

- 強靱な国土づくりを強力かつ継続的に進めるため、令和2年度までの限定的な措置となっている「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の継続や対象事業の拡大を早期に決定し、必要な予算・財源を安定的・継続的に確保すること。

【飯泉 全国知事会会長】

- やはり災害列島に備える防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策、総理の英断のおかげで、国土強靱化を進めるだけでなく、建設産業が今回はしっかりと踏みこたえることができ、今後の経済対策にも大きな礎ができたところであります。是非この令和2年度までといった点についても、これから3か年とは言わず、大胆に5か年、こうした点についての延長、新たな対策を是非よろしくお願い申し上げたいと存じます。

【立谷 全国市長会会長】

- 次に、飯泉知事からもありましたが、国土強靱化の問題です。こういう新型コロナの非常にひどいときに台風あるいは洪水になったらどうしようか。昨年の経験がありますから。したがって、国土強靱化、河川の強靱化の取組を推進していただきたい。それと、先ほど建設業の話もありましたけれども、このV字回復あるいは経済の復活を狙う際に、私は観光や物流が基本になってくると思います。そのことを考えた場合、国土強靱化と同時に、国づくり、私は一番は道路整備だと思えます。この物流や観光を基本として、V字回復を狙うためにも、道路整備について御配慮願いたいと思っています。